

浄土宗のおしとめ

香林山 無量寺

香偈

身心及び道場を清浄にせしめ給えと念じつつ鑿をならして称えよ

願我身浄如香爐 願我心如智慧火
念念梵燒戒定香 供養十方三世佛

三宝禮

まごころを捧げて佛法僧の三宝を礼拝する

一心敬禮 十方法界常住佛
一心敬禮 十方法界常住法
一心敬禮 十方法界常住僧

四奉請

諸佛菩薩を請待して加被護念を願う心にて称えよ

奉請十方如来 入道場散華樂
奉請釈迦如来 入道場散華樂
奉請彌陀如来 入道場散華樂
奉請觀音勢至諸大菩薩 入道場散華樂

懺悔偈

過去及び現在の一切の悪業行為悔い改める心にて称えよ

我昔所造諸悪業 皆由無始貪瞋癡
從身語意之所生 一切我今皆懺悔

十念

発願文

死の縁は無量なりいつも臨終の思いになって称えよ

願わくば弟子等、命終の時に臨んで、心、転倒せず、
心、錯乱せず、心、失念せず、身心に諸々の苦痛なく
身心快樂にして禅定に在るが如く、聖衆現前したまひ、
佛の本願に乗じて阿弥陀佛国に上品往生せしめたまへ。
彼の国に到り已つて六神通を得て十方界に入つて苦の
衆生を救摂せん虚空法界も尽きんや我が願もまた是の如
くならんと発願し已わんぬ至心に阿弥陀佛に帰命したて
まつる。

開紋偈

かいきようげ

佛法に遭つて縁を聞ひ徳をすむむことのありがたきを言ひつゝ称えよ

無上甚深微妙法
我今見聞得受持

百千萬劫難遭遇
願解如来眞實義

四誓偈

しせいげ

我建超世願
誓不成正覺
普濟諸貧苦
名聲超十方
離欲深正念
為諸天人師

必至無上道
我於無量劫
誓不成正覺
究竟靡所聞
淨慧修梵行
神力演大光

斯願不満足
不為大施主
我至成佛道
誓不成正覺
志求無上道
普照無際土

しょうじよさんくみょう
消除三垢冥
めっしこんもうあん
滅此昏盲闇
くうそじようまんぞく
功祚成満足
てんこうおんぷげん
天光穩不現
じよつおだいしゆうちゆう
常於大衆中
ぐそくしゆとくほん
具足衆徳本
によぶつむげち
如佛無礙智
とうしさいししようそん
等此最勝尊
こくうしよてんにん
虚空諸天人

こつさいしゆうやくなん
廣濟衆厄難
へいそくしよあくどう
閉塞諸惡道
いようろつじつぼう
威曜朗十方
いしゆかいほうぞう
為衆開法蔵
せつぼうししく
説法獅子吼
がねしつじようまん
願慧悉成満
つうだつみふしよ
通達靡不照
しがんにやこつか
斯願若剋果
とううちんみようけ
當雨珍妙華

かいひちええげん
開彼智慧眼
つうだつぜんしゆもん
通達善趣門
にちがつしゆうじゆうき
日月戈重暉
こうせくどくほう
廣施功德寶
くよういつさいぶつ
供養一切佛
とくいさんがいお
得為三界雄
がんにかくえりき
願我功慧力
だいせんおうかんど
大千應感動

ほんせいげ
本誓偈

經を読んだ功德を極樂往生の為にふりむける心にて

ごくらくしようもん
極樂之要門

じようさんとうえこう
定散等回向

みだほんぜいがん
彌陀本誓願
そくしよむしようしん
速證無生身

十念

一枚起請文

宗祖法然上人ご遺訓

もろこし我が朝に、もろもろの智者達の沙汰
し申さるる、觀念の念にもあらず。又學問をし
て、念のこころをさとりて、申す念佛にもあら
ず。ただ往生極樂のためには、南無阿彌陀佛と
申して疑いなく、往生するぞとおもいとりて、

申す外には、別の子細しやう候はず。ただし三心四修と申すことの候は、皆決定けつじようして南無阿弥陀佛にて、往生するぞと、思おもつつちに、ここもり候なり。この外に、奥深きことを存ぜば、一尊のあわれみにはずれ、本願にもれ候べし。念佛を信ぜん人は、たとい一代の法をよくよく学すとも、一文不知の愚鈍ぐどんの身になして尼入道の無智の輩に同じうして、智者のふるまいをせずして、ただ一向に念佛すべし。

證のために両手印をもつてす

浄土宗の安心起行、この一紙に至極せり。源空が所存、この外に全く別義を存ぜず。滅後の邪義をふせがんにために、所存をしるしおわんぬ。

建曆二年正月二十三日（大師在御判）

攝益文

しよつやくもん

念佛申す者は如来の光明に攝取せられ又護念の利益あることを思して称える

光明遍照

こくみやうへんじやうじつぱうせかい

十方世界

念佛衆生

せつしゆふしや
攝取不捨

ねんぶついちえ
念佛一会

木魚と調子をあわせて百遍千遍数は随意

南無阿弥陀佛。

南無阿弥陀佛。

南無阿弥陀佛。

そつえこうもん
総回向文

十方一切の諸靈魂怨親平等に利益を蒙らしめ給えと念じつつ

がんにしくどく
願以此功德

びょうどうせいっさい
平等施一切

どうぼつぼだいしん
同発菩提心

おうじよつあんらつこく
往生安楽国

十念

しぐせいがん
四弘誓願

諸佛の行じ給いし度断知証の四誓願を将来自他共に必ず成就せしめ給えと念じつつ

しゅじょうむへんせいがんど
衆生無邊誓願度

ほんのうむへんせいがんだん
煩惱無邊誓願断

ほうもんむじんせいがんち
法門無盡誓願知

むじょうぼだいせいがんしやう
無上菩提誓願證

じたほうかいどうりやく
自他法界同利益

ぐしよごくらくじよつぶつどう
共生極樂成佛道

さんしやうらい
三唱礼

礼 拜

南無阿弥陀佛

南無阿弥陀佛

南無阿弥陀佛

そつぶつげ
送佛偈

最初に諸佛菩薩を請待せしが勤行も終わりたればお帰りを願う心にて

しよつぶつぜいえんげんぼんごく
請佛随縁還本国

ふさんこうげしんそつぶつ
普散香華心送佛

がんぶつじしんよつごねん
願佛慈心遥護念

どうしよつそつかんじんしゆらい
同生相勸盡須來

宗歌「月影」

月かげのいたらぬ里は

なけれども

ながむる人の

心にぞすむ

香林山 冷智院 無量寺縁起

一、所属宗派 浄土宗 鎮西派

二、宗 祖 法然上人

三、総本山 京都 東山 知恩院

四、開 山 寛永三年 来誉萬哲上人 市内田町にて開基

五、四代貞誉上人代 現在地に移転

六、十七代慶誉上人代 本堂再建（総檜材、十二間四面）

七、昭和二十年八月 空襲により全焼

八、昭和四十四年 本堂再建

九、昭和四十七年 庫裡竣工

本尊阿弥陀如来

一、高 さ 一・二メートル 木彫立像

二、大正元年 国宝指定

三、昭和二十五年 国指定重要文化財

観音堂

一、本 尊 聖観世音菩薩

二、筑後西国三十三ヶ所 十八番札所

おのづから「こころただしくなりにけり

よき えにしにて 寺をめぐれば